

■法学政治学研究科の入学者受入れの方針（Admission Policy ; A P）

本研究科の「理念・目的」「教育目標（人材育成方針）」、学位授与方針（D P）、教育課程の編成・実施方針（C P）を踏まえ、以下のように入学者受入れの方針を定める。

〔法律学専攻〕

博士前期課程

（A P 1）【求める学生像】

- （1）法律学及び政治学を研究するための基礎となる法律学の知識が身につけている人
- （2）グローバルに研究素材を求めるための語学力を持つ人
- （3）研究を遂行する際に他の研究者との協働に意欲を持つ人
- （4）研究の成果を学界及び社会に問うことや、社会問題に取り組むことに積極的姿勢を有する人

（A P 2）【入学者の選考方針】

（A P 1）に掲げた求める学生像に合致した入学者を選抜するために、学力及び人物を考慮する多様な資料に基づいて選考を行うものとする。

（A P 3）【課程入学までに身に付けておくべき教科・科目等】

専攻する予定の科目及びそれに密接に関連する隣接分野の科目を含めて、大学法学部を卒業したかそれに相当する法律学の基本的な知識並びに外国語。

博士後期課程

（A P 1）【求める学生像】

- （1）法律学及び政治学の研究において学界に貢献する革新的な研究を遂行するための基礎となる学力が身につけている人
- （2）グローバルに研究素材を求め、自己の研究を発表するための語学力を持つ人
- （3）研究を遂行する際に他の研究者との協働に意欲を持つ人
- （4）研究の成果を学界及び社会に問うことや、社会問題に取り組むことに積極的姿勢を有する人

（A P 2）【入学者の選考方針】

（A P 1）に掲げた求める学生像に合致した入学者を選抜するために、学力及び人物を考慮する多様な資料に基づいて選考を行うものとする。

（A P 3）【課程入学までに身に付けておくべき教科・科目等】

専攻する予定の科目及びそれに密接に関連する隣接分野の科目に関する高度の知識並びに外国語。

〔政治学専攻〕

博士前期課程

（A P 1）【求める学生像】

政治学の分野において、基礎的な知識を修得し、社会及び学界に貢献する優れた研究活動を行いたいという意欲のある人

（A P 2）【入学者の選考方針】

（A P 1）に掲げた求める学生像に合致した入学者を選抜するため、学力及び人物を考慮した選考を行うものとする。

（A P 3）【課程入学までに身に付けておくべき教科・科目等】

政治学・行政学・国際政治学から1科目と、西洋政治史・西洋政治思想史・日本政治史・日本政治思想史・東洋政治史・国際政治史・政治過程論・比較政治学から1科目、さらに各自の専門分野の科目

博士後期課程

(A P 1) 【求める学生像】

政治学の分野において、社会及び学界に貢献する優れた研究能力と高度な専門知識を持つ人

(A P 2) 【入学者の選考方針】

(A P 1) に掲げた求める学生像に合致した入学者を選抜するため、学力及び人物を考慮した選考を行うものとする。

(A P 3) 【課程入学までに身に付けておくべき教科・科目等】

専攻分野と関連分野の科目、さらに外国語（英語・ドイツ語・フランス語）